

**第三者評価基準** (様式2)  
**【 障害者・児福祉サービス版 】** R2年3月31日改定

## A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
A1	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a・b・c
<b>評価概要</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者自治会を毎月開催し、利用者による話し合いのサポートや利用者からの意見や要望を聞くなど、利用者の主体的活動の発展を支援しています。さらに半年ごとに改善点について話し合うなど、継続して検討しています。</li> <li>・嗜好品に関して、食べ物イラスト、保護者からの情報、普段の生活の様子から利用者それぞれのアセスメントもなされており、また、食に関する委員会も開催しながら、利用者が主体的に生活を送ることができるように工夫されています。</li> <li>・職員のグループ会議では、毎月課題をあげ検討し、翌月はその振り返りを行いながらさらに深く検討されています。利用者の自己決定に関する事業所内研修も開催し、内容についても職員会議で共有を図っています。</li> </ul>		
A-1-(2) 権利擁護		
A2	① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	a・ー・c
<b>評価概要</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者自治会では、利用者に向けてパワーポイントを使って、権利擁護について分かりやすく説明しています。また、家族会でも支援要覧を用い、権利擁護について説明されています。</li> <li>・年4回の身体拘束防止委員会の開催や身体拘束に関する勉強会を開催し、利用者の権利侵害防止に取り組んでいます。</li> <li>・「身体拘束防止マニュアル」、「権利擁護マニュアル」、「虐待防止マニュアル」が整備されています。</li> <li>・権利擁護についてチェックリストと改善シートを活用し、月に1回、日々の支援の中で確認作業を行い、虐待の知識を正確に把握し、課題を焦点化し、利用者の尊厳を守る取り組みを行っています。</li> <li>・人権擁護や虐待防止に関しては、虐待とは何かを常に学びながら、小さな「不適切なケア」と呼ばれていることも、チェックリストや改善シートを活用して確認しながら、利用者を尊重した支援を行っています。</li> <li>・利用者の権利擁護に関する研修を事業所内で開催したり、外部の研修に参加するなどし、内容についても職員会議で共有を図っています。</li> </ul>		

## A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
A3	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	Ⓐ・b・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に役割をもってもらい、誉める、共感する、無理強いしないなどの対応をしながら、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援計画にもとづく支援を行っています。</li> <li>・日々の支援内容を支援日誌に記録し、職員はいつでも日誌を見て確認できるようにしています。また、グループ会議において、利用者の自律・自立支援のために活かせるようにしています。</li> <li>・支援日誌は、個別支援計画に基づいており、記録の方法も特定の支援内容について偏ることなく、必要事項をバランスよく記載できるように工夫されています。</li> </ul>		
A4	② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	Ⓐ・b・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の心身の状況や特性に応じて、ティーチ（TEACCH）メソッドを取り入れ、写真や絵カード等を活用したコミュニケーション手段を確保し、支援を行っています。</li> <li>・利用者とのコミュニケーションが図れるように、個別支援計画に基づいた支援内容が支援日誌に記載され、事業所全体で取り組むことができるよう工夫されています。</li> </ul>		
A5	③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	Ⓐ・b・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の利用者自治会の中で、話すことができない利用者へはどのようにすればよいか検討し、食べたいものについては食べ物の写真を示しながら、改善点を見つけるなどの意思決定の支援を行っています。</li> <li>・個別支援計画にも写真や絵を使って意思決定を促す計画が明記され、その内容が支援日誌にも記載され、職員間で利用者の意思を尊重する取り組みが表れています。</li> <li>・利用者、家族との面談も行い、利用者の意思を理解できるよう取り組み、意思決定支援会議に図り、それを個別支援計画に明記しています。</li> </ul>		
A6	④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	Ⓐ・b・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で制限はありますが、個別支援計画にもとづき、日中活動の「いきいき活動」を基本として日常生活の支援を行う生活支援と充実活動、創作活動、生産活動の3つの内容を分けて行う充実支援を実施し、メニューの多様化を図っています。</li> <li>・地域内の掃除に参加したり、地域に買い物に出たり、また、重度の利用者でも中庭やグ</li> </ul>		

<p>ラウンドでの活動ができるように取り組んでいます。活動中の表情などをよく観察するなど、非言語的コミュニケーションを大事にし、本人が興味を持てる活動について検討しています。そして、その内容を個別支援計画に反映しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で活動が制限される中、Wi-Fiを整備しYouTubeを活用するなど、利用者の日中活動に工夫が見られます。</li> </ul>		
A7	⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	㉞・b・c
<p><b>評価概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強度行動障害に対する研修として、「支援者養成研修（基礎研修・実践研修）」の外部研修会に参加するなど、内部研修も含めほとんどの職員が受講しています。てんかんに関する研修を80%以上の職員が受講し、専門知識の習得と支援の質の向上に取り組んでいます。</li> <li>・研修計画にもとづき階層別研修を実施し、個々の障害に応じた支援のための検討も意思決定支援会議やグループ会議、職員会議で行われています。</li> </ul>		
<p><b>A-2-(2) 日常的な生活支援</b></p>		
A8	① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	㉞・b・c
<p><b>評価概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「利用者自治会」で出された食に関する意見に対応した献立を作成し、月に1～2回セレクトメニューを取り入れて、利用者が楽しんで食事できるように工夫しています。また、冷温配膳車を導入し適温での食事を提供しています。</li> <li>・食堂の雰囲気も季節を感じることができるよう飾りつけも工夫されており、利用者が心地よく食事できるよう支援しています。</li> <li>・個別支援計画に入浴における留意点を記載し、毎日入浴を行っています。入浴チェック表、ボディチェック表を作成し、異常を発見した場合には、家族へ連絡を行い、その状況をチェックしています。</li> <li>・個別支援計画に排泄における支援内容を記載し、毎日排泄状態をチェックし、チェック表も作成しています。</li> <li>・利用者個々にIADLも含まれたADLマニュアルを作成し、状態に応じた日常的な支援ができるようにしています。</li> </ul>		
<p><b>A-2-(3) 生活環境</b></p>		
A9	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a・㉞・c
<p><b>評価概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各スペースの火元責任者が月末美化点検を実施し、改善するところがあれば改善するようにしています。</li> <li>・グループ会議では、生活環境に関する課題を取り上げ、シルバー人材センターも活用し、</li> </ul>		

<p>過ごしやすい快適な生活環境づくりに取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居室内にはオゾン発生器や空気清浄機を設置し、快適に生活できる環境づくりに取り組んでいます。</li> </ul>		
<p><b>A-2-(4) 機能訓練・生活訓練</b></p>		
A10	<p>① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。</p>	a・ <b>b</b> ・c
<p><b>評価概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能訓練が必要な利用者に対しては、個別支援計画に訓練内容を記載し、やまびこ医療福祉センターと連携し、専門職によるリハビリを実施しています。</li> <li>・事業所内でも、リハビリ専門職の助言、指導によりストレッチやボールを使った運動に取り組んでいます。</li> <li>・今後、リハビリ専門職との尚一層の連携を深め、定期的に行える機能訓練の計画化と実施を検討しています。</li> </ul>		
<p><b>A-2-(5) 健康管理・医療的な支援</b></p>		
A11	<p>① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。</p>	<b>a</b> ・b・c
<p><b>評価概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の日々の健康状態については、健康観察記録表で全職員が確認できるようにしています。また、感染症及びその他対応マニュアルを全職員が持ち、感染症について常に確認できるスキームを備えています。看護職員とも常に連携し、利用者の体調に関する情報をホワイトボードや支援日誌を活用し、把握しています。</li> <li>・「健康管理マニュアル」が作成され、体調不良時にはマニュアルに従い迅速に対応できる体制が構築されています。</li> <li>・1日3回の検温により健康状態を把握すると共に、年2回健康診断を実施し、医師から生活指導や助言を受けています。</li> <li>・てんかん発作時等の対応についての研修の機会を設け、研修で習得した内容については職員会議で共有しています。</li> </ul>		
A12	<p>② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。</p>	a・ <b>b</b> ・c
<p><b>評価概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「医薬品管理規定」、「健康管理マニュアル」、「与薬支援マニュアル」が整備され、医療的な支援に対応できるよう努めています。</li> <li>・身体面で異常に気付いた場合には、看護職員の指示を仰ぎ、必要があればすぐに受診するように支援しています。また、その内容は通院日誌、支援日誌の特記事項、看護師達示用ホワイトボードを活用し、職員間で共有できるように工夫されています。</li> <li>・現在、医療的ケアを必要とする利用者はいません。</li> <li>・入所中の利用者が高齢化に伴い、フレイル（虚弱）になる恐れもあるため、その予防に向</li> </ul>		

けた取組の検討を期待します。		
A-2-(6) 社会参加、学習支援		
A13	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	Ⓐ・b・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の希望を尊重し、海へ行きたい、水族館へ行きたい等の要望に応え社会参加への支援を行っています。また、スーパーに買い物に行き品物を自分で選ぶ、公園で過ごすなど、社会参加の支援も行っていきます。</li> <li>・音読や計算ドリルを取り入れ、学習支援に取り組んでいます。</li> <li>・現在コロナ禍のため外泊はできていませんが、神社等への外出支援がされています。そして、外出外泊確認表への記載もしてあります。</li> <li>・「武養（武岡養護学校）ミーティング」を開催し、学校との連携を取りながら、個々の利用者の状態に応じて、宿題等の学習に付き添う支援も行っていきます。</li> </ul>		
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
A14	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a・Ⓑ・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「武養（武岡養護学校）ミーティング」では、卒業後の進路について検討するなど、地域生活への移行支援のための検討がなされています。</li> <li>・施設を退園してグループホームへ移行し、生活訓練をしている事例がありますが、成人した利用者で地域生活へ移行される方の事例はありません。</li> <li>・利用者自治会では、地域資源の説明をし、水族館や店舗、焼肉屋へ外出するなど、地域生活のための支援を行っていますが、現在はコロナ禍のため実施できていません。</li> <li>・家族や学校、児童相談所と連携し、グループホームへの移行を検討中の利用者、他法人の通所サービスを利用している利用者があるなど、地域生活への移行へ取り組もうという体制はできています。</li> </ul>		
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
A15	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	Ⓐ・b・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、広報誌に職員の手書きのメッセージカードを添えて、グループごとにそれぞれの家族へ発送しています。また、近況報告は定期的に電話で実施されています。</li> <li>・利用者の生活と支援については、家族会の他に年2回家族との面談を実施して意見交換を行い、必要に応じて家族からの相談に応じて助言するなどの家族支援を行っています。</li> <li>・利用者の体調不良や急変時には、マニュアルに沿って必ず家族に連絡し、支援日誌の特記事項に記載しています。</li> </ul>		

## A-3 発達支援

		第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援		
A16	① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c
評価概要		
非該当		

## A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
A17	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a・b・c
評価概要		
非該当		
A18	② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるような取組と配慮を行っている。	a・b・c
評価概要		
非該当		
A19	③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a・b・c
評価概要		
非該当		